

大人数授業におけるフィールドワークの課題

社会科教育・張 貴民

1. 授業の概要

この授業は次の目的、すなわち「人間の諸活動と環境との関係を中心に、事例地域の分析を通じて現代人文地理学における様々な課題にアプローチする。地図に基づいて人文事象を理解し、習得することを目標とする」ものであった。

授業のスケジュールは、第1回ガイダンス、第2回人文地理学について、第3回人文地理学の研究法(その1)、第4回人文地理学の研究法(その2)、第5回フィールドワークの実施(時期は天候を見て決める)、第6回農業の立地、第7回フィールドワークのまとめと発表、第8回工業の立地、第9回商業の立地、第10回都市の立地、第11回都市の内部構造、第12回グループ発表と討論、第13回食と自然環境とのかかわり、第14回服と自然環境とのかかわり、第15回まとめ・期末試験、であった。

また、第5回目のフィールドワークへの出席を義務づけ、全員の出席を求めた。その結果、12月3日のフィールドワークに45名の参加者がいた。参加者が多いため、実施日時の調整は困難であった。結局全員出席可能な授業時間(月・5時限)を利用してフィールドワークを行なった。現地での観察時間の確保、大人数の問題、調査結果の発表とそのグループ分けの方法、グループ発表の時間確保など、課題も多かった。

2. 授業評価の方法

本年度は以下の点、すなわち「授業難易度、授業の進度、教員の話し方、教材の使い方、双方向性、シラバスへの準拠、授業改善への意欲、授業の満足度、感想や意見」について、自由記述方式で学生の意見やコメントを求めた。2008年2月4日(月)の授業の中で実施した。履修登録者数は47名であった。当日の授業参加者数は38名で、全員からコメントを得ることができた。

3. 授業評価の結果

学生のコメントをそのまま掲載する(誤字

脱字のみを修正した)。貴重で具体的な意見なので、次の授業改善に活用したい。

他の多くの学生が後ろの方の席にいたので、授業を前の方の席で聞いていると、先生が自分の後ろにいる状態になり授業が受けにくかったです(OA)。

その日の授業内容を勉強することにどのような意味があるのか、学習の動機づけがわかりにくかった(NM)。

先生が話すだけでなく、生徒が意見を言う機会が与えられていたのでよかったです(IH)。

地理学概説に続き、地理のことが楽しく学べてよかったです。フィールドワークが特に楽しかったのですが、短い活動だったので残念でした(ET)。

授業の進度はちょうどよかったです。皆で行ったフィールドワークも楽しくできてよかったです(NK)。

積極的に先生から学生への質問があり授業に参加しているという実感がもてた(YT)。

一回の講義で、一つの事象をポイントに絞って扱っているため、分かりやすく、進度も適切であった(HY)。

人文地理では今まであまり目を向けなかったところに気付くことができた。色んな視点から物事を見るのが大切だとわかった(KK)。

実際に地域を歩いて見ていく活動があったのですごく興味を持ってたし楽しい内容でした(MR)。

すごく個人的な意見だが、フィールドワークについてグループの数を増やして発表するグループをいくつか選ぶ、というふうにした方が準備段階での作業効率も上がると思う(TY)。

商業と土地利用、運送費のあたりが難しかったです。衣食住の話は(私の趣味ですが)とても楽しかったです(KT)。

授業の難易度は問題なくついていけました。グループごとの活動をもっと作っても良いと思います(HR)。

授業の内容は、面白いものだった。特にフ

フィールドワークが良かった。実際、行ってみないとわからないこともあったし、そこから疑問などが見付き、思考が深まったからだ。しかし、他専修にとってはつらい (ET)。

毎回の授業でパワーポイントがまとめられていて、ノートに写すことであとからも振り返りのしやすいノートづくりができました (SM)。

講義全体のまとめとして各講義がどのような関わりを持って、人文地理学が成り立っているかを考えられるとよいと思います (OY)。

もう少し深く、詳細な内容を学習したかった。今日の衣服の内容は大体みんな分かっていると思う。概説ではなく、詳細で新しい発見がある面白い授業を期待しています (ET)。

フィールドワークがあり、実際に見ることで理解にも繋がり楽しく活動出来ました。専門的な内容になると少し難しく感じますが、大体の内容は分かりやすかったです (HN)。

パワーポイントなどの視聴覚教材を使って教えていたので分かりやすく、理解できた (HF)。

地理学の授業で、50人という人数が多かったかなと思います。フィールドワークの際、大人数がために、指示などの声が聞こえなかったり、しっかり観察することができなかった (RM)。

授業はパワーポイント、資料を上手く活用して進められていた。興味深く受講できた (NA)。

授業は、先生の質問に対して生徒が積極的に答えたり、あてられて答えるという双方向性のあるものでした (ET)。

人文地理は自分が想像していたのとは違って、もっと身近なところから身近な疑問について調べていくことが多くとても興味深いものでした。授業自体も適切な難易度で行われており、高校で地理を勉強していない私でも分かりやすかったです (UM)。

基本的なことをやったので難易度はそんなに難しくはなかった。一つの事柄を集中してくれてよかった (UM)。

今までに、人文地理の授業をとったことがなかったのですが、フィールドワークは楽しかったです (NY)。

フィールドワークでは、グループ別発表を行うことで、様々な人の意見を聞き、自分自身の勉強になったのがよかったです (TS)。

パワーポイントを用いることが多く、分かりやすかったが、枚数が多く写すのに時間がかかったので、一部はプリントとして配ってほしかった (KM)。

授業の内容は満足できるものだったと思います。個人的に商業立地論や衣食の話が好きでした。また、もっとフィールドワークを増やしてください (OH)。

授業の難易度としては、わかりやすかったところもあったし、わかりにくいところもあった (GY)。

授業の難易度は地理学概説と同じくらいでとてもわかりやすかったです。フィールドワークがあったため、より意義のある授業だったと思います (TT)。

授業難易度はちょうどよかったです。発表の班を学科や学年でわけないと授業の日程の関係もあり非常に集まりにくかったです (KY)。

授業の内容をノートに写すだけでなく地図に書き込むなどの作業をいれてほしいです (KH)。

授業の内容は、解りやすく良かったと思います。進展もゆっくりで良かったと思います (OY)。

パワーポイントを用いて授業が行われていたが、ノートを取るのがたいへんで話をほとんど聞けなかったのが残念でした (TS)。

内容的にわかりやすい分野が多くて良かったけど一つに対する時間が少なかった (KA)。

パワーポイントの内容をあらかじめプリントにして配るようになれば、授業中メモする時間を省けて授業はスムーズに進むと思います (OS)。

人文地理がどういうものかが、非常によくわかりました。ただ、最初の都市や店舗の話の方が難しく、後の衣食住の方が易しかったので、順番が逆であれば学びやすかったように思います (UM)。

フィールドワークで道路や建物について調査したのが印象に残っています。報告はひとつ班の人数が多く、仕事を分担することできる反面、全員が集まることができなかったり、役割の量にばらつきがでたりという問題もありました (NR)。

内容が広すぎて、学ぶべきことがわからなかったが、広い考え方を自然事象と人文事象を結びつけた形で持てるようになった (NY)。